



ADAM

ユーザーマニュアル

J11742
改訂版 V2
2016年11月

COPYRIGHTについて

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証も行いません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害（利益の損失、ビジネスチャンスの喪失、データの損失、業務の中断などを含む）に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、内容は予告なしに変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容についてASUSは責任を負いません。

Copyright © 2016 ASUSTeK Computer, Inc. All Rights Reserved.

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害（死亡したケースを含む）と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作為または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

- (1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
- (2) ユーザーの個人情報やデータの損失
- (3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

マルチ言語サポートサイトをご用意しています。

<https://www.asus.com/jp/support>

もくじ

| | |
|------------------------------|----|
| 製品の概要..... | 5 |
| 使用の手引き..... | 5 |
| デバイスの有効化..... | 7 |
| ADAM電源オプションメニュー..... | 9 |
| ADAMメイン画面..... | 10 |
| ADAMデバイス設定..... | 11 |
| USB..... | 11 |
| システム..... | 12 |
| 画面ロック..... | 13 |
| Wi-Fi..... | 13 |
| システムバー..... | 14 |
| Kiosk..... | 14 |
| アプリケーションリスト..... | 15 |
| ADAM API ホワイトリスト..... | 15 |
| ネイティブブラウザのアクセスコントロールリスト..... | 15 |
| 壁紙..... | 16 |
| 起動時のアニメーション..... | 16 |
| ADAMメニュータブ..... | 17 |
| 設定をエクスポートする..... | 18 |
| 設定をインポートする..... | 19 |
| 表示・非表示アプリファイルを作成する..... | 20 |
| 表示・非表示アプリファイルをインポートする..... | 20 |
| アクセスコントロールリストを作成する..... | 21 |
| アクセスコントロールリストをインポートする..... | 22 |
| ブートアニメーションの作成..... | 22 |

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱いいただくため、以下の表記をご参照ください。

重要: 作業を完了するために従わなければならない事項です。

注意: 作業を完了するためのヒント等の追加情報です。

警告: 作業を行う際、人体への危険を避けるため、または本機のコンポーネントへの損害、本機内のデータの消失を避けるために、必ず従わなければならない事項です。

表記

- 太字** = 選択するメニューや項目を表示します。
- <> = 操作の際に押すキーボード上のキーです。

製品の概要

ADAMでは、ASUS ADAM対応デバイスの管理・設定を簡単に行うことができます。

注意:本書記載の画面/写真の内容は参照用で、お買い求めの製品の内容と異なる場合があります。

使用の手引き

ADAMを使用するには、ログインアカウントの作成が必要です。

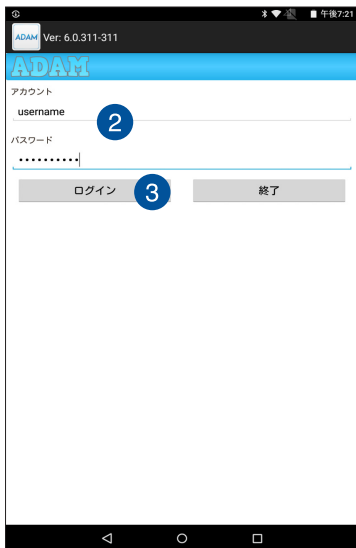
注意:ADAMを使用する前に、ADAM Web Consoleでお使いのデバイスを有効にする必要があります。詳細は「デバイスの有効化」をご参照ください。

ADAMを使用する

1. インターネットにASUS ADAM対応デバイスを接続し、ADAMを開きます。



2. ユーザー名とパスワードを入力します。
3. 「ログイン」をクリックします。



注意:

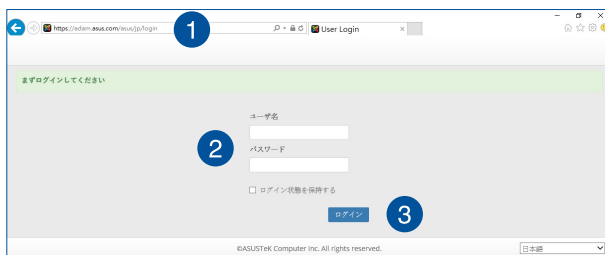
- ADAMを使用する前に、ADAM Web Consoleでお使いのデバイスを有効にする必要があります。デバイスが有効になっていない場合、ポップアップメッセージが表示されます。詳細は「デバイスの有効化」をご参照ください。
- ADAMは自動的にお使いのデバイスの言語設定を検出し、その言語を既定の言語として使用します (サポートされている場合)。
- 電源オプションメニューで「MDM Admin」を選択しても、ADAMを開くことができます。詳細は「ADAM電源オプションメニュー」をご参照ください。

デバイスの有効化

ADAMクライアントにログインする前に、ADAM Web Consoleでお使いのデバイスを有効にする必要があります。

手順

1. インターネットに接続し、ブラウザを起動して次のURLを開きます。
(<https://adam.asus.com/asus/en/login>)
2. ユーザー名とパスワードを入力します。
3. 「ログイン」をクリックし、管理用コンソールを開きます。



4. 「デバイスの状態」をクリックしデバイスリストを表示します。

| デバイス名 | 接続の状態 | IMEI | MAC | SN |
|--------------|-------|------------------|-------------------|---------------|
| Asustest-199 | ● | 9573658123057438 | A8:01:23:45:67:98 | SN387DU839948 |
| Asustest-198 | ● | 9573658123057437 | A8:01:23:45:67:97 | SN387DU839947 |
| Asustest-196 | ● | 9573658123057435 | A8:01:23:45:67:95 | SN387DU839945 |
| Asustest-194 | ● | 9573658123057433 | A8:01:23:45:67:93 | SN387DU839943 |
| Asustest-192 | ● | 9573658123057431 | A8:01:23:45:67:91 | SN387DU839941 |
| Asustest-191 | ● | 9573658123057430 | A8:01:23:45:67:90 | SN387DU839940 |

5. 有効にしたいデバイスを選択します。

注意:

- 有効ではないデバイスの背景色は青く表示されます。
 - リストの1ページで表示可能なデバイス数は最大100台です。画面右下の「**更に表示**」をクリックすると、その他のデバイスが表示されます。「**全て表示**」をクリックすると、デバイスがすべて表示されます。
-

6. 「**有効化**」をクリックすると、デバイスが有効になります。

| | |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| デバイス名: | 370C@00748  |
| 前回更新した時間: | 2016-11-01 14:28:41 <input type="button" value="更新"/> |
| 前回接続した日時: | 2016-11-01 14:19:27 |
| 無効なデバイス | <input type="button" value="有効化"/> |
| このデバイスの未実行コマンドを消 | <input type="button" value="消去"/> |

注意: デバイスがサーバーに接続することによって、コマンドが発行されます。

ADAM電源オプションメニュー

電源オプションメニューで「**MDM Admin**」を選択しても、ADAMを開くことができます。

注意: 電源オプションメニューは、電源ボタンを長押しすると表示されます。

MDM管理者オプションを有効にする

1. 「**設定**」→「**タブレット情報**」の順に進みます。
2. モデル番号を7回タップすると、MDM管理者オプションが有効になります。

注意:

- 再びモデル番号を7回タップすると、MDM管理者オプションは無効になります。
- デバイスをKIOSKモードにすると、MDM Adminオプションは強制的に有効になります。



ADAMメイン画面

メイン画面はADAMにログインすると表示されます。



注意: 上方向にスワイプすると、項目が更に表示されます。

ADAMデバイス設定

デバイスのADAM設定を変更するには、任意の項目をタップし表示されるポップアップメニューで変更します。またはスイッチのオン/オフを切り替えます。



USB

USBストレージ - デバイスが外付けUSBストレージの読み取りを行うかどうかを設定します。

注意: このオプションを再び有効にした場合は、外付けUSBストレージを一旦取り外した後に再接続してください。

USBコンピューター接続 - コンピューターにデバイスを接続しているとき、デバイスの読み取りを行うかどうかを設定します。

USBデバッグ - USBデバッグの有効/無効を切り替えます。

システム

開発者オプション - 開発者オプションへのアクセスの有効/無効を切り替えます。

FOTA - FOTA経由のデバイス更新の設定を行います。

設定オプション: 有効、無効、自動

有効 - 利用可能な新しい更新がある場合、ユーザーにメッセージを送信します。また、更新の有無は「設定」→「タブレット情報」→「システム更新」でも確認することができます。

自動 - 利用可能な新しい更新がある場合、自動的に更新し再起動します。

無効 - システムは新しい更新をチェックせず、ユーザーは手動でも新しい更新をチェックすることができません。

データの初期化 - データ初期化の有効/無効を切り替えます。

システム設定オプションコントロール - システム設定メニューへのアクセスの有効/無効を切り替えます。

カメラ - アウトカメラ/インカメラ、または両方のカメラの有効/無効を切り替えます。

Bluetooth - Bluetoothの設定を行います。

設定オプション: デフォルト設定、常にオン、常にオフ

アプリケーションのインストール - アプリのインストールの有効/無効を切り替えます。

アプリケーションのアンインストール - アプリのアンインストールの有効/無効を切り替えます。

シャットダウンのオプション - チャージャー非接続時にシャットダウンするかを設定します。

TeamViewer - TeamViewer for ADAMのカスタマイズバージョンでデバイスをリモート操作するかを切り替えます。

注意: TeamViewer for ADAMはGoogle Playストアまたは TeamViewerのサイトからダウンロード可能です。

自動起動 (特定モデルのみ) - チャージャー接続後、自動的に電源をオンにするかを設定します。

スピーカー (特定モデルのみ) - オーディオジャック接続時のスピーカーの有効/無効を切り替えます。

画面ロック

画面ロック - 画面ロックの設定のオン/オフを切り替えます。

画面ロックのタイプ - 画面をロックする方法を選択します。

「すべて」、もしくは「なし、スワイプのみ」から選択することができます。

Wi-Fi

Wi-Fi 状態 - Wi-Fi の設定を行います。

設定オプション: デフォルト、常にオンで変更不可、常にオフで変更不可

Wi-Fi 設定のエクスポート - SSID、Wi-Fi パスワード、認証方式をエクスポートします。設定をエクスポートする間にエクスポートしたいWi-Fi ネットワークを選択し、「OK」をタップします。

注意: 次の認証方式をサポートしています。

none、WPA-PERSONAL、WPA2-PERSONAL

Wi-Fi ロック ... - デバイスで使用したいWi-Fi ネットワークを選択し、「OK」をタップすると、選択したネットワークに優先的に接続します。

Wi-Fi ロックオプション - Wi-Fi ロックオプションをONにすると、Wi-Fi ロックで選択したネットワークにのみ、接続が可能です。

注意: お使いのデバイスは、「Wi-Fi ロック」でWi-Fi ネットワークを選択すると、選択したネットワークがある場所では、選択したネットワークに接続をします。

システムバー

システムバー - ナビゲーションバーの表示/非表示とスワイプ表示/非表示を切り替えます。また、ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。

BACKキー - BACKキーの有効/無効を切り替えます。

Homeキー - Homeキーの有効/無効を切り替えます。

アプリ履歴キー - アプリ履歴キーの有効/無効を切り替えます。

ステータスバーのスワイプ表示 - ステータスバーのスワイプ表示の有効/無効を切り替えます。

デバイス設定と通知を管理 - デバイス設定と通知パネルの表示/非表示をそれぞれ切り替えます。

Kiosk

Kiosk アプリケーション - KIOSKアプリを選択します。また、デバイスをKIOSKモードに設定します。KIOSKアプリを削除しKIOSKモードを終了するには、「**現在のKioskアプリを削除**」をタップします。

注意:

- Kioskモードを終了するには、ADAM Web ConsoleまたはADAMをデバイスで使用する必要があります。
 - 電源オプションメニューで「**MDM Admin**」を選択しても、ADAMを開くことができます。詳細は「ADAM電源オプションメニュー」をご参照ください。
 - KIOSKモードでは、ADAMと選択したKIOSKアプリだけがアクセス可能になります。
-

アプリケーションリスト

アプリリストの設定を適用するには「OK」を、アプリリストをデフォルト設定に戻すには「リセット」をタップします。

表示・非表示アプリファイルリスト - 表示・非表示アプリファイルを使用し、表示・非表示アプリファイルリストをインポートします。

設定ファイルを選択 - インポートする表示・非表示アプリファイルを選択します。詳細は「表示・非表示アプリファイルを作成する」をご参照ください。

注意: メイン画面で「OK」をタップし、設定を適用してください。

ADAM API ホワイトリスト

エクスポートする項目のボックスをチェックし、設定のエクスポート時にADAM API ホワイトリストをエクスポートします。詳細は「設定をエクスポートする」をご参照ください。

注意: ADAM API ホワイトリストの機能は別途、ADAM Web Consoleからの作業が必要になります。

ネイティブブラウザのアクセスコントロールリスト

ネイティブブラウザのアクセスコントロールリスト - ACLファイルをインポートし、ネイティブブラウザで参照できるページを制限します。詳細は「アクセスコントロールリストを作成する」と「アクセスコントロールリストをインポートする」をご参照ください。

注意: このオプションで制限するのは、ネイティブブラウザだけです。非ネイティブブラウザは制限されません。詳細は「アクセスコントロールリストを作成する」をご参照ください。

壁紙


壁紙を選択し、「OK」をタップし壁紙を設定します。

起動時のアニメーション

起動時のアニメーションを選択し、「OK」をタップし起動時のアニメーションに設定します。詳細は「ブートアニメーションの作成」をご参照ください。

注意: お使いのバージョンなどにより、操作・表示が異なる場合があります。

ADAMメニュータブ

メニュータブを表示するには、右上の  アイコンをクリックしてください。



設定をエクスポート - チェックした項目の設定をエクスポートします。詳細は「設定をエクスポートする」をご参照ください。

ADAMホワイトリスト設定ファイルをダウンロード - ADAMサーバーからアプリホワイトリストをダウンロードします。ADAMホワイトリストは、デバイスにどのアプリがホワイトリストに登録されているかを通知し、アプリにADAM APIの使用を許可します。

注意: デバイスは再起動のたびにサーバーから最新のADAMホワイトリストのダウンロードを試行します。なお、手動でこのメニューコマンドを使用し最新のADAMホワイトリストをダウンロードすることも可能です。

パスワードの変更 - アカウントパスワードを変更します。


デバイス名を変更 - デバイス名を変更します。

ログアウト - ADAMからログアウトします。

設定をエクスポートする

チェックした項目用の設定を設定ファイルとしてエクスポートし、他のデバイスにインストールすることができます。またADAM Web Consoleで設定ファイルを使用することも可能です。

手順

1. エクスポートする項目のボックスをチェックします。
2. メニュータブを表示するには、右上の  アイコンをクリックしてください。
3. 「設定をエクスポート」をタップし、設定ファイルをエクスポートします。

注意:

- 右上のボックスをチェックすると、全ての項目を一括してチェックすることができます。
- 設定ファイルは次のディレクトリに保存されます。
(/sdcard/Configuration.data)



設定をインポートする

他のデバイスからこのデバイスに設定ファイルをインポートしインストールすることができます。

手順

1. 「/sdcard/」に適切な**Configuration.data** ファイルを保存します。
2. デバイスでADAMログイン画面を開きます。
3. 「**インポート**」をタップし、その設定ファイルをインポートします。

注意: エラーが発生する場合は、Configuration.data ファイルのフォーマットとそのファイルが保存されたディレクトリをご確認ください。



表示・非表示アプリファイルを作成する

アプリのリストを作成してデバイスにインポートし、各アプリの表示/非表示を切り替えることができます。

手順

1. 「.txt」ファイルを作成します。
2. テキストエディターでその「.txt」ファイルを開きます。
3. ファイルに追加したいアプリのパッケージ名を入力します。

YouTubeとGoogle Mapsでの追加例:

`com.google.android.youtube`

`com.google.android.apps.maps`

注意: 1行につき割り当て可能なパッケージ名は1つだけです。

4. 「.txt」ファイルを保存し、表示・非表示アプリファイルを作成します。

表示・非表示アプリファイルをインポートする

手順

1. デバイスで表示・非表示アプリファイルを作成する、またはデバイスにコピーします。
2. ADAMメイン画面を開き、「アプリケーションリスト」をタップします。
3. 「表示・非表示アプリリスト」をタップし、「表示アプリリストをインポート」または「非表示アプリリストをインポート」をタップします。
4. 「設定ファイルを選択」をタップし、インポートする表示・非表示アプリファイルを選択します。
5. ADAMメイン画面に戻り、「OK」をタップし設定を適用します。

アクセスコントロールリストを作成する

ウェブサイトのリストを作成してデバイスにインポートし、ネイティブブラウザからの各サイトへのアクセスを制限することができます。

手順

1. 「.txt」ファイルを作成します。
2. テキストエディターでその「.txt」ファイルを開きます。
3. テキストファイルに次の内容を入力します:

```
<?xml version='1.0' encoding='UTF-8' standalone='yes' ?>
<acl type="XXX" version="1" blockIPFormat="XXX">
<access origin="XXX" subdomains="XXX"/>
</acl>
```

注意:

- 1つのアクセスオリジンにつき、1つのウェブサイトを割り当ててください。
- 他のオリジンを追加するには、他のラインを追加します。
<access origin="XXX" subdomains="XXX"/>
- ACLファイルは、BOM不使用のUTF-8 フォーマットである必要があります。

-
4. 必要に応じ、対応するオプションを変更します:

| | |
|-----------------------------------------|-------------------------------|
| <code>acl type="whitelist"</code> | アクセスルールでのみリンクを開きます。 |
| <code>acl type="forbiddenlist"</code> | アクセスルールでのみリンクをブロックします。 |
| <code>blockIPFormat="true"</code> | IPでデバイスがウェブサイトにアクセスするのを禁止します。 |
| <code>blockIPFormat="false"</code> | IPでデバイスがウェブサイトにアクセスするのを許可します。 |
| <code>access origin="websiteURL"</code> | 制限を設けるURLを入力します。 |
| <code>subdomains="true"</code> | URLサブドメインを含みます。 |
| <code>subdomains="false"</code> | URLサブドメインを含みません。 |

5. 「.txt」ファイルを保存し、アクセスコントロールリストを作成します。

アクセスコントロールリストをインポートする

アクセスコントロールリストをインポートするには、ADAMメイン画面を開き「ネイティブブラウザのアクセスコントロールリスト」をタップします。

ブートアニメーションの作成

起動時のブートアニメーションを作成することができます。

注意: ブートアニメーションはAndroidの仕様に従い、作成する必要があります。詳しくはAndroidの仕様をご確認ください。

手順

1. 「bootanimation」というメインディレクトリを作成します。
2. 「part0」というサブディレクトリを作成し、複数の「.png」ファイルをサブディレクトリに追加し、シーンを作成します。

注意: シーンを追加するには、次のように順次サブディレクトリを追加します。
例: part0、part1、part2

3. メインディレクトリに「desc」という「.txt」ファイルを作成します。
4. テキストエディターでその「.txt」ファイルを開きます。
5. テキストファイルに次の内容を入力します:

```
<width in px> <height in px> <fps>  
p <no of repeat (0=inf)> <pause in seconds> <folder name>  
p <no of repeat (0=inf)> <pause in seconds> <folder name>
```

例:

```
480 180 10  
p 1 0 part0  
p 0 0 part1
```

6. すべてのファイルを含むメインディレクトリの無圧縮zipファイルを作成し、ブートアニメーションを作成します。